ふるさとちば"のための政策推進を

特集しました。

感染者の療養体制はどうか。 た場合、安房郡市における ため、今後、感染者が増え コーナ対策の療養ホテルがない 川名議員 安房郡市には 保健医療担当部長 安房

ホテル療養、自宅療養のいず 出の内容及び感染者からの 発生届を受理すると、届け 聞き取った情報により、入院 では、医療機関から感染者の 郡市を含め、本県の保健所

で登壇した川名県議 る配食サービスを行っ により、毎日、健康 やご本人の希望によ オキシメーターの貸出 か、保健所長の判断 状態の確認を行うほ 合は、ご自宅で療養 で必要により、パルス 保健所からの電話等 していただきますが

また、入院が必要な

設のいずれかのホテルで療養 成田市内で確保している6施 れが適切かを判断します。 していただきます。 だき、千葉市内、 職送車等により移動していた した場合は、県の手配した ホテル療養が適切と判断 船橋市内

状況と今後の取り組みはど 復旧について、安房郡市内 における農業用施設の復旧 総半島台風等の災害からの

自宅療養と判断された場

農林水産部長県では、 いるところです。 また、農業用倉庫や畜舎

の早期復旧に向け、関係4 件の復旧事業計画を承認 安房郡市内での農業用施設 し、12月末現在で約7割の 市町と一体となって、730 国との協議を進めてまいり 年度内の完了が困難な場合 などの性質上、やむを得ず には、繰越ができるよう、

止や、山崩れによる機能が 災を図るため、地すべり防 低下した保安林等の復旧

示産花卉 D R

場合の県の対応をただし、県は「ホテル療養が必要と判断ナウイルス感染症対策で、安房郡市内で感染者が発生した例県議会の一般質問に登壇しました。川名県議は、新型コロな・こうすけ)県議は、新年度の県予算案を審議する2月定鴨川市、南房総市・安房郡選挙区選出の川名康介(かわ

のか。 県産農林水産物の生産者 をどのように支援している 言以降に影響を受けている 川名議員 緊急事態宣

どの価格が下落しているほ るなどの影響が出ています。 か、観光地の直売所やいち このため、県では速やかに県 ご狩り等の来客数が減少す 言以降、高級食材や花きな 森田知事 緊急事態宣

> を活用し、約千カ所の銀行 での朝獲れ鮮魚の販売支援 Rを行うとともに、量販店 での90種類の県産花卉のP ンジメントの装飾や、百貨店 取り組むこととしました。 産農林水産物の消費拡大に やカラーなどを活用したアレ や郵便局での県産のストック 具体的には、国の交付金

工区バイパス整備の進捗状況など、川名県議の主な質疑を明しました。このほか、清澄山道ループ橋を含む県道坂本ルスオキシメーターの貸出や配食サービスなども行うと説移送する」などの対応策を示し、また、自宅療養者には、パ

た場合は、県内に6施設確保しているホテルに輸送車で

などの取り組みを行っていき

農業施設の復旧 川名議員 令和元年の房

平塚地区において、治山ダ 止対策は、南房総市丸山

令和2年度の地すべり防

ムにより渓流の浸食を防止

いながら、復旧工事の速や 団体への協力要請などを行 の影響があるものの、業界 型コロナウイルスの感染拡大 かな完了に向け取り組んで 残る事業については、新

> りの原因となる地下水を排 カ所で、暗渠により地すべ か、鴨川市平塚地区等2 する等の事業を進めるほ

除するなどの事業を実施し

ているところです。

確保に向け、山地治山事 り、引き続き集落の安全 令和2年度中に着手する で崩壊した斜面に緑化シー 整備は、鴨川市和泉地区 トを施工する等の事業に、 業を着実に進めてまいりま こととしているところであ また、保安林等の復旧

〒296-0001 鴨川市横渚1481-3 FAX 04-7096-5320 04-7092-1280



場合は、入院先を確 行っているところです 保できるよう、調整を

川名議員 安房地域での

域では、山地等の防災・減

2月

県議会

どうか。 山地治山事業の取り組みは 農林水産部長 安房地 実施しています。

事が完了しました。

整備などの山地治山事業を

後もしっかりと取り組むよ 箇所に合わせて、今 住民からの要望

E

川名議員 主要地方道:

捗状況はどうか。 待しています。同工区の進 区の進捗に住民の多くが期 たり、その意味でも坂本工 蓮上人生誕800年」に当 ています。特に、本年は「日 として道路整備が進められ 川市天津において坂本工区 路です。現在、県により鴨 化には欠かせない重要な道 場産業の振興や地域の活性 県道市原天津小湊線は、地 ます。 業の工程に影響が出ており

進めているところです。 現道拡幅やバイパス整備を 天津の2・7キロ区間で、 原天津小湊線では、鴨川市 これまでに、現道拡幅区 **県土整備部長** 県道市

の供用を目指し、道路改良 間について、令和2年度内 道ループ橋を含むバイパス区 しており、今年度は清澄山 間のうち1・8キロを供用

受け、この地域では特定の な状況となっており、本事 技能労働者の確保が困難 急激な感染拡大の影響を 展開してきたところです。 工事や舗装工事を全面的に しかしながら、昨年末以 新型コロナウイルスの

防対策も徹底しながら、 して事業を推進してまいり 引き続き早期供用を目指 県としては、感染症の予

ぜひ早期の完成を要望し は、住民の期待も大きく、 るという状況は承知して 湊線の坂本工区について 本事業の工程にも出てい いますが、県道市原天津小 ス感染症の影響が 新型コロナウイル

> います。 8キロ区間の整備を進めて

ら、残る用地の取得を進め、 となっています。引き続き ながら、用地取得を進めて 事業を推進してまいります。 おり、用地取得率は約8割 現在、鴨川市の協力を得 元の皆様の協力を得なが

> 路については、県及び 現在、館山·鴨川道 アクリル板に囲まれた自席で答弁を聞く川名県議

が、被害の現状 いるナラ枯れです 続的に質問して と対策はどうか 農林水産部長

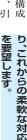
平成29年度に鴨 れ、昨年度は10 川市で確認さ 病で、本県では 木が枯れる伝染 シイ・カシ類の ナラ枯れは、大 木化したナラや

います。 29市町で被害が確認されて 1月末現在で、 市町、今年度は

の調整を図り、使用の承認 な防除方法の研修を行ってい 等の関係者を対象に効果的 を受け、市町村や森林組合 ていなかったことから、国と 本県で特に被害が多く発生 有効な薬剤の対象樹木に、 るところです しているマテバシイが含まれ 県では、ナラ枯れ対策に

事例として示すことで取り 組みを促すとともに、市町 対策を進め、市町村に先行 燻蒸や伐倒・搬出等の防除 村、国、研究機関等で構成 される協議会を通じて、引

き続き情報共有を図ってま いります せた対応が必要であ 地域の実情に合わ



多ル化推

県は、どのように取り組ん 業務改善・効率化に向けた ジタル庁創設の動きに合わ でいくのか。 行政のデジタル化は、国のデ メーション) について伺います。 ペーパーレス化の推進ついて、 化していくものと思います。 せて、今後も具体化・加速 DX(デジタルトランスフォー 川名議員次に自治体の

川名議員

理を行うとともに、会議や ら原則、電子決済による処 ル化を進める上で不可欠な 効果もあり、行政のデジタ か、在宅勤務を円滑にする 時間を抜本的に削減するほ 資料の準備や管理に要する 打ち合わせで紙資料を使わ 取り組みと認識しています。 ペーパーレス化は、 職員が紙 総務部長 庁内業務の このため、昨年10月末か

ずパソコンでデータを共有す 望します。 ぜひ行っていただくよう要 化等々も含めた取り組みを 化に合わせて業務の最適 登壇した川名県議



で、意見交換しながら検討を 山鴨川道路交通対策検討会

です。 カ所で被災し、現在、この 復旧に取り組んでいるところ

でいただくよう要望します

早期具体化に向け取り組み ひとも県においては、計画の 進めているところですが、ぜ

風等の災害からの復旧につい

川名議員

房総半島台

て、安房郡市内の県管理道

路の復旧状況と今後の見通

までに8カ所の復旧工事を 館山線など4カ所について 完了しています。残る犬掛 6路線12カ所であり、これ このうち、安房郡市内は

状況はどうか。

ハスについては、鴨川市街地 県土整備部長 坂下バイ

市浜萩から東町までの0 新たなルートとして、鴨川

県管理道路では、24路線41

年度の一連の台風等により、

県土整備部長 令和

田原線の坂下バイパスの進捗

道128号の天津小湊方面 の渋滞緩和を図るため、

しはどうか。

から県道千葉鴨川線を結ぶ

川名議員 県道天津小湊

地元市町などで構成する館

民の森」において、被害木の また、被害のあった「県

るなど、全庁でペーパーレス るところです。 化の取り組みを推進してい

3月までには完了する予定

て工事を進めており、本年

現在、早期復旧に向け

改善や効率化を図ってまい パーレス化による庁内業務の 織的取り組みを進め、ペー 業務手順の見直しなど、 徹底、デジタル技術の活用、 引き続き、職員の意識の

ることが必要ですが、その 則提として業務プロセスの レス化・デジタル化を進め (直しにしっかりと取り組 け、業務のペーパー 2025年度に向 ります

合わせてシステム開発をし むよう要望します。 **といくのではなく、デジタ** 従来の業務、事務処理に